

天然記念物へGO！第1弾！

森林浴に行こう！



千葉県内には、国指定天然記念物が16件、県指定天然記念物が52件あります。

(平成20年7月現在)

	動物	植物	地質・地形	計
国指定	6	8	2	16
県指定	2	39	11	52
計	8	47	13	68

いずれも国あるいは千葉県の歴史と文化を語る上で重要であるとして指定されました。

今回はこれらの中から、森林浴に適した社叢林、植物群落についてご紹介します。
夏休みの小旅行にピッタリです



ムシが多いので、虫除け対策を念入りに。



国指定天然記念物「笠森寺自然林」



所在地：長南町笠森
所有者：笠森寺
指 定：昭和45年1月23日
広 さ：約6.4ha

重要文化財「笠森寺観音堂」

巨岩の上に立つ様は、圧巻！
支柱は懸造（かけづくり）とい
う技法で組まれ、釘が1本も使
われていません。



笠森寺自然林は、坂東三十三番霊場の第三十一番札所である笠森寺の周囲に広がる暖帯性常緑広葉樹林です。周辺の山々は県立笠森鶴舞自然公園にも指定されており、笠森寺観音堂から一望することができます。

笠森寺は延暦3年(784)に最澄により開かれたと伝えられており、この自然林も延暦年間から禁伐林として木を切ることのできない林であったといえます。

スダジイを主体とし、イチイガシ、アカガシ、ヒサカキ、アラカシ、ネズミモチ、イズセンリョウなどが茂り、林床にはシダ植物が豊富に見られます。

笠森寺からユートピア笠森、野見金牧場を通過して長南町中之台へ向かうルートは、「関東ふれあいの道・観音様のみち」になっていますので（約11km、所要時間約3時間30分）ゆっくり散策してみてください。



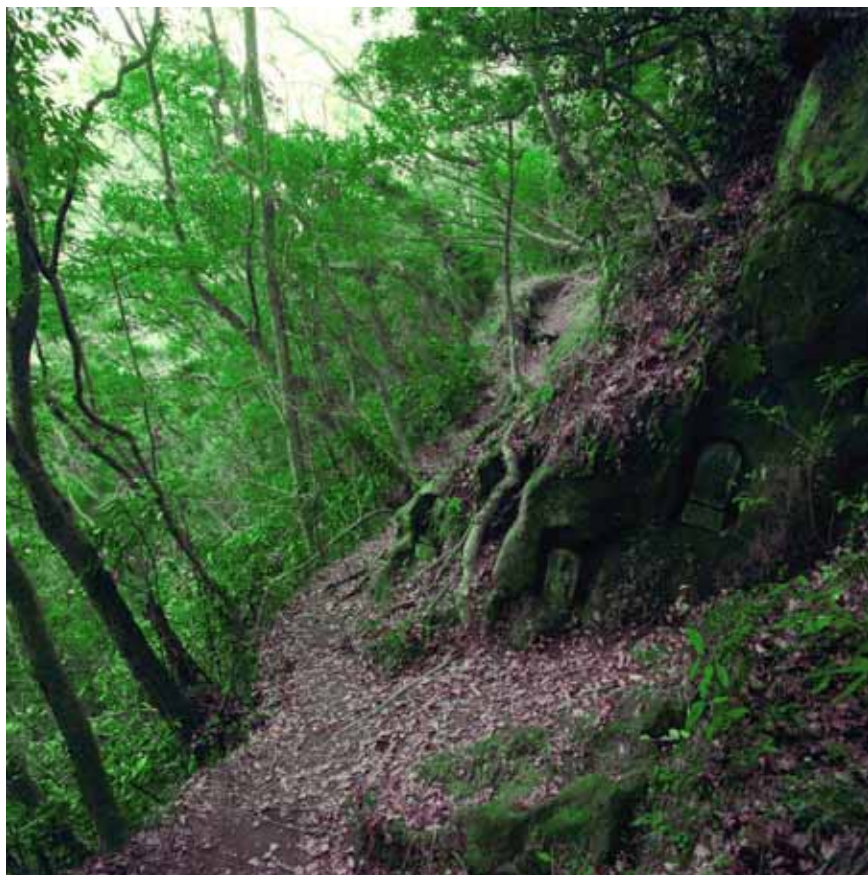
電車で：JR 外房線茂原駅から牛久行きバスで「笠森観音前」下車

車で：国道297号で米沢交差点を左折して国道409号へ

笠森寺観音堂 大人100円 小人50円



県指定天然記念物「三石山自然林」



所在地：君津市草川原

所有者：観音寺

指 定：昭和49年3月19日

広 さ：約1.2ha

三石山は小櫃川の最上流部で、清澄山系の西北端の一角にあたります。標高281mの山頂には三石山観音寺があり、山頂にある3つの巨岩にちなんで三石山観音と呼ばれています。

山頂からの眺望にすぐれ、北に大福山、南に清澄山、西に鹿野山と、房総の山並みが一望のもとに見渡せます。

スダジイ、ウラジログシ、ヒサカキ、ヤブツバキ、エンコウカエデ、イヌシデ、アカガシ、ヤブツバキ、モミ、カヤなどが生えており、中には樹高30mにおよぶスギの大木もあります。

また、三石山自然林は全国に知られたシダの自生地でもあります。ミツイシイノデは、ここで発見されたシダ類で、周辺にみられる熱帯性のヤノネシダも分布の北限として貴重なものです。

JR久留里線上総亀山駅から藤林大橋、八幡神社をとおって三石観音へ向かうハイキングコースがあります（三石山まで所要時間約1時間30分）。帰りは、ちょっと足を伸ばして亀山温泉で休憩するのもオススメです。



電車で：JR久留里線上総亀山駅から車で15分

車で：国道465号で亀山ダムを目指し、藤林大橋の東側を南へ入る



県指定天然記念物「大福山自然林」



所在地：市原市石塚

所有者：白鳥神社他

指 定：昭和47年1月28日

広 さ：約2ha

大福山は養老溪谷の西方に位置し、標高285mの山です。山頂は照葉樹に囲まれた自然林となっており、山頂に鎮座する白鳥神社の社叢林として古くから保護されてきました。

山頂近くにある展望台からは、西に大福山の山頂が、南に梅が瀬溪谷から房総丘陵の山々と九十九谷が織りなす美しい景観を一望することができます。

大福山の植物相は豊かで、樹木112種、草木272種、シダ類44種がこれまでに記録されています。全体的にはスタジイ、アカガシ、モチノキ、タブノキが優先し、典型的な照葉樹林を構成しています。

小湊鐵道養老溪谷駅、上総大久保駅からいくつかハイキングコースがありますので(いずれも約1.2km、所要時間約3時間)、何度も足を運んでみてください。新緑の時期、紅葉の時期は特に綺麗です。



電車で：小湊鐵道養老溪谷駅または上総大久保駅下車、徒歩1時間15分
車で：国道297号で市原市牛久から県道81号へ入り、小湊鐵道上総月崎駅から
県道32号へ右折し、浦白川を渡って林道へ



県指定天然記念物「妙楽寺の森」



所在地：睦沢町妙楽寺

所有者：妙楽寺他

指 定：昭和50年3月28日

広 さ：約6.3ha

妙楽寺の森は、標高約80mの房総丘陵に残るスダジイの極相林で、妙楽寺及び日吉神社の社叢として古くから保護されてきました。沿岸地域と山地の両方の植生を持っていることが大きな特徴です。

スダジイ、クスノキ、スギ、ウラジロガシ、サカキ、ヤブツバキ、タブ、カクレミノ、トベラ、マンリョウ、ヤツデ、アオキ、ホソバカナワラビ、ベニシダ、イタチシダ、ハナミョウガ、ヤマモモ、カゴノキなどが生えています。

この森はヒメハルゼミの生息地としても有名で、初夏の夕方になるとセミの大合唱を聴くことができます。さらに近年、狩猟禁止区域となったこともあり、鳥の数も増えています。

妙楽寺には重要文化財「木造大日如来坐像」や千葉県指定有形文化財「木造不動明王立像 木造毘沙門天立像」もあり（通常は非公開、要予約）、見どころ満載です。

参道の階段は滑りやすくなっていますので、ご注意ください。



電車で：JR 外房線上総一ノ宮駅からバスで「御大日下」下車
車で：千葉外房有料道路から茂原市内を抜け、県道27号を南下



県指定天然記念物「軍荼利山植物群落」



所在地：一宮町東浪見

所有者：東浪見寺

指 定：昭和32年1月17日

広 さ：約4 ha

軍荼利山は標高約75mの丘陵で、温暖で降水量が多く、スダジイをはじめとした自然林となっています。また長い間、信仰の対象として保護されてきたため、約4haに及ぶ山林のほとんどに自然の景観を留めています。

植生はスダジイを中心に、アカガシ、アラガシ、アコノキ、タブノキ、シロダモ、ヤブニッケイなどが生えています。

この山の北西側は、中腹から地下水がしたたり落ちて、あたりは湿った雰囲気となっています。そのため、シダ類の宝庫となり、貴重な種類も見ることができます。

睦沢公民館から洞庭湖、軍荼利山を通過して東浪見駅へ向かうルートは、「関東ふれあいの道・大海原を望めるみち」となっています（約11km、所要時間約3時間）。



電車で：JR 外房線東浪見駅下車、徒歩10分

車で：国道128号を茂原市街から南下し、東浪見駅手前を右折



県指定天然記念物「龍福寺の森」



所在地：旭市岩井
所有者：龍福寺
指 定：昭和54年3月2日
広 さ：約4ha



龍福寺の森は、飯岡台地縁辺の斜面に広がる社叢で、湧水が斜面のあちこちから湧き出し、滝となって流れ落ちています。このことから龍福寺は「滝不動」とも呼ばれ、かつては47滝もあったといわれます。

スダジイ、タブ、ヤブツバキ、モミのほかゴマナ、アケボノソウ、ハイチゴササ、オタカラコウ、アケボノシュスラン、コモチシダなどの貴重な植物もあります。

森は鬱蒼として暗く、ひんやりとした空気が漂ってきます。マイナスイオンをたっぷり浴びてリフレッシュ！



電車で：JR 総武本線飯岡駅から JA 万歳支所ゆきバスで「岩井不動下」下車
車で：旭市役所海上支所から県道73号を北上し、岩井のT字路を右折



県指定天然記念物「香取神宮の森」



所在地：香取市香取
所有者：香取神宮
指 定：昭和49年3月19日
広 さ：約4.4ha



境内の左手奥には、鹿苑もあります

香取神宮は、祭神に経津主命を奉り、社伝によると宮柱の創立は神武天皇18年と伝えられています。『日本書紀』には、東国香取の地にあることが記され、古来より国庫鎮護の神として崇拜されてきました。古代の東国では鹿島神宮と並んで「神宮」の社号を持ちます。

香取神宮の森は古くから信仰の場として保護されてきたため、幹周りが3mを超すスギの巨木が林立しており、イヌマキやモミ、クロマツの大木なども見られます。

参道の玉砂利を踏みしめながら、スギの大木の間を歩いていくと、気分は一気に古代へタイムスリップ！お札授与所の前にあるスギは香取神宮の御神木で、樹齢約1,000年と伝えられています。

境内は、元禄13年(1700)に徳川綱吉によって造営された重要文化財の本殿と楼門、千葉県指定有形文化財の旧拝殿、国登録有形文化財の拝殿、幣殿、神饌所、香雲閣など文化財の宝庫です。国宝「海獣葡萄鏡」(複製)、重要文化財「古瀬戸黄釉狛犬」などが公開されている宝物館(有料)もお見逃しなく。



電車で：JR 成田線佐原駅から香取神宮ゆきバスで終点下車
車で：東関東自動車道佐原香取インターチェンジから県道55号に入りすぐ
宝物館 大人300円 小人100円



県指定天然記念物「麻賀多神社の森」



所在地：成田市台方
所有者：麻賀多神社
指 定：昭和52年3月8日
広 さ：約6,400㎡

成田市台方の麻賀多神社は、八千代市から成田市にかけて18社がある麻賀多神社の惣社です。この神社は、平安時代に編さんされた『延喜式』にも記されています。

この森は、印旛沼の東方1kmに位置する標高約30mの台地上にあります。指定地域内には、古くから知られた「公津の大杉」をはじめ、幹周りが3mを超えるスギが多数あり、アカガシ、スタジイの巨木も生えています。

公津の大杉は、樹齢1200年とも1300年ともいわれ、昭和10年に県指定天然記念物の第1号の一つとして単木指定されたものですが、その後昭和52年に麻賀多神社の森に含められました。幹周りは約8mで、樹高も40mを測ります。下枝はなくなり、幹にも大きな空洞が開いていますが、樹勢は旺盛です。下から見上げると、あまりの高さに圧倒されます。

麻賀多神社から歩いて20分ほどのところには、江戸時代の義民・佐倉宗吾を祀った宗吾霊堂があり、宗吾霊宝殿（有料）には県指定有形文化財の「梵鐘（応長元年在銘）」が展示されています。



電車で：京成電鉄宗吾参道駅から徒歩30分

JR成田駅から甚兵衛渡しゆきバスで「麻賀多神社」下車

車で：成田市街から国道464号を印旛沼方向へ進み、宗吾霊堂を過ぎた右側
宗吾霊宝殿 御一代記館と共通で700円

問合せ先：千葉県教育庁教育振興部文化財課
043-223-4085

